

# 取扱説明書 (国内販売用) The English version is printed on the back page.

## ■ 高粘度用スプレーガン HW-2003

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項および取扱い方法について記載しています。  
この取扱説明書で扱われている機器は、塗装業務用途の商品です。他の用途には使用しないでください。  
正しい取扱指導を受けられ、機械の操作方法を理解された方以外の人は、使用しないでください。  
ご使用前に、必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。  
本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。  
使用時に不用意に塗料が噴出したり、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。  
⚠️ 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

<b>警告</b>	警告内容を怠った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
<b>注意</b>	注意内容を怠った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性が想定されることを示します。
<b>重要</b>	この記号は、機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものであります。国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則又、それぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

### 用途

このスプレーガンは、主として高粘度塗料(接着剤、FRP樹脂等)の吹付けに使用されます。

### 重要仕様

最高使用圧力	0.68MPa [7.0kgf/cm <sup>2</sup> ]
騒音値	73.7 dB(A)
吹付条件	推奨使用条件
測定位置	スプレーガンより後方へ1m 地面より高さ1.6m
使用温度範囲	雰囲気温度5°C~40°C 流体温度(液体・気体)5°C~43°C

### ノズル・ニードルセットの組合せ

塗料ノズル		ニードル弁セット
口径φmm	表示	表示
φ2.0	HW2/20	20 WIDER2

### 主要仕様

形式	塗料供給方式	塗料ノズル口径φmm	適用空気キャップ	推奨使用条件		※2 パタン開き mm	空気使用量 l/min	接続口径	質量 g	適用コンテナ
				※1 吹付空気圧力 MPa [kgf/cm <sup>2</sup> ]						
W-2003-20	コンテナ圧送式	2.0	R1	0.29 [3.0]		300~400	270	G1/4(空気) M16x1(塗料)	385	PC-19B (別売)

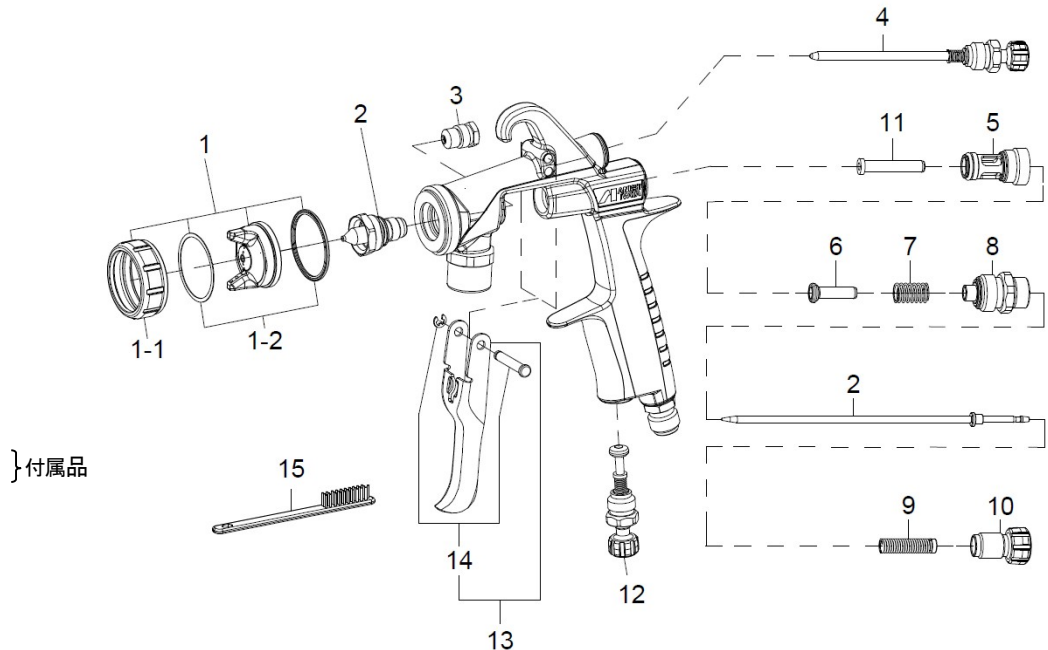
※1 吹付空気圧力は、引金を引き空気を流した時のスプレーガンの入口部の圧力です。

※2 パタン開きは、水系エマルジョン塗料(粘度:約3Pa・s[30 P])を用いて、吹付距離を200~300mmで吹き付けをおこなった場合の目安です。

## ■ 部品名称

No.	品名	数量
1	空気キャップ ASSY	1
1-1	キャップカバー	1
1-2	空気キャップパッキン	1
◆ 2	ノズルニードル ASSY ・塗料ノズル ・ニードル弁 ASSY	1
◆ 3	ニードル弁パッキンセット	1
4	パタン調節装置	1
5	空気弁シート ASSY	1
◆ 6	空気弁	1
7	空気弁ばね	1
8	塗料調節ガイド ASSY	1
9	ニードル弁ばね ASSY	1
10	塗料調節 ASSY	1
◆ 11	空気弁棒	1
12	空気量調節装置	1
13	引金 ASSY	1
14	引金止め軸 ASSY	1
15	掃除用ブラシ	1
◆ 16	取扱説明書 (本書)	1

◆ 印部の部品は消耗品です。



◎ PC-19B加圧コンテナは別売りです。

◎ 部品御注文の際は、スプレーガン形式、空気キャップ ASSY、塗料ノズル、ニードル弁 ASSY の刻印、及び上記No. 品名を御指定ください。

◎ 塗料ノズル、ニードル弁 ASSY は個別での販売はいたしません。各部品を交換する場合は、個別に交換せずノズルニードル ASSY の組み合わせで交換してください。

◎ 開封時、破損や欠品がないことを確認してください。

◎ 欠品、輸送上の損傷がある場合は、危険防止のため使用せず、お買い求めになった販売店又は当社支店・営業所、サービス会社までご連絡ください。

## ■安全にご使用頂くための警告事項

### ⚠ 警告

#### 火災と爆発

1. 吹き付け作業場は、火気厳禁です。
  - ・塗料は引火性があり火災の危険性があります。
  - ・たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは必ず避けた所でご使用ください。
2. 次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しないでください。  
化学反応により、本体(アルミニウム部分)にクラック、溶解が発生します。
  - ・不適合溶剤: 塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、四塩化炭素、トリクロロエチレン、1,1,1トリクロロエタン 等  
(特殊な塗料やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。)
3. スプレーガンにはアース線入りホースを使用する等、確実にアースを接続してください。  
アースが不十分ですと、静電気のスパークによる火災、爆発の危険性があります。



#### 機器誤用

1. 絶対に人や動物に向けてスプレーしないでください。  
目や皮膚の炎症、人体への危険があります。
2. 最高使用圧力以上のご使用は絶対に避けてください。
3. 洗浄、分解、保守作業をする前及び作業中断時には必ず塗料と空気の圧力を逃がしてください。  
圧力が残っていると、誤動作、洗浄液の飛散により人体に危険があります。  
圧力を逃がす方法は、スプレーガンへの圧縮空気、塗料、シンナー等の供給を停止し、引金を軽く引くことにより行います。
4. メンテナンスの際、ニードル弁 ASSY および塗料ノズルの先端には触らないでください。  
ニードル弁 ASSY、塗料ノズルの先端は鋭く尖っており、怪我をする恐れがあります。



#### 人体保護

1. 吹き付け作業は、塗装ブース等を使用し、換気の良いところで使用してください。  
換気が不十分ですと有機溶剤中毒や引火の危険が増えます。
2. 常に適切な服装または保護具を着用してください。(眼鏡、マスク、手袋)  
目や皮膚に洗浄液等が付き炎症を起こします。  
目や皮膚に異常を感じたら直ちに医師の治療をうけてください。
3. 健康安全上耳栓の着用をお奨めします。  
使用条件、作業環境により、騒音値が80dB(A)以上になる場合があります。
4. 吹き付け作業中に疲れを感じた際は適時休憩をとってください。  
長時間の使用にて何度も引金を引くことで腱鞘炎になる恐れがあります。



#### その他

1. 加圧コンテナは、PC-19B(別売)をご使用ください。  
十分な性能が発揮できないばかりか、加圧コンテナの破損により人体に障害を及ぼす可能性があります。
2. 製品の改造はしないでください。  
十分な性能が発揮できないばかりか、故障の原因となります。
3. 他の装置(ロボット、レスプロ、等)の作動範囲内で作業をする場合は、装置の停止を確認してから行ってください。  
ロボットやレスプロとの接触でけがをすることがあります。
4. 食品用や化学薬品用には使用しないでください。  
塗料通路内部の腐食による事故発生や異物混入による健康障害の可能性がります。
5. 異常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまでは再使用しないでください。

## ■接続方法

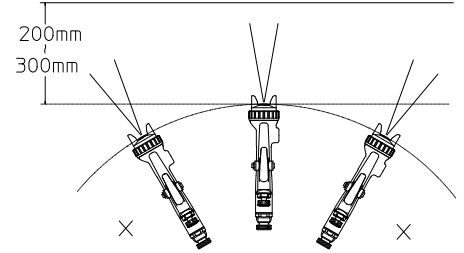
### ⚠ 注意

- ・エアードライヤやエアフィルタを通したきれいな圧縮空気を使用してください。  
塗装作業に使用する空気が汚れていると、塗装不良を起こします。
- ・購入後初めてご使用の場合は、塗料通路内部の防錆油を取り除くため、シンナーを吹いて内部の洗浄を行ってください。  
防錆油が残っていると、はじき等塗装不良の原因となります。
- ・ホース、塗料容器は、スプレーガンにしっかりと固定してください。  
ホースのはずれ、容器の落下により、人体に傷害を及ぼす可能性があります。
- ・ご使用になる前にPC-19B(別売)の取扱説明書を必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。  
十分な性能が発揮できないばかりか、加圧コンテナの破損により人体に障害を及ぼす可能性があります。
- ・塗料容器PC-19B(別売)コンテナの蓋の締付を十分に行ってください。  
加圧されたエアが漏れ、パターン形状及び塗料噴出量が不安定になる原因となります。

- 作業 1 エアホースは空気ニップル、塗料容器は塗料ニップルに接続します。
- 作業 2 吹付空気をスプレーガンへ供給します。
- 作業 3 塗料容器にシンナーを入れ吹付けを行いスプレーガン等の塗料通路をシンナー洗浄します。
- 作業 4 塗料容器に塗料を入れ、塗料の試し吹きを行い空気量、塗料噴出量、パターン幅を調節します。

## ■ 調節方法


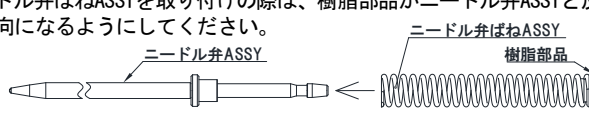
- 作業 1 吹付空気圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、概略0.25～0.34MPa {2.5～3.5kgf/cm<sup>2</sup>}の範囲に設定します。  
 圧力は、別売りの手元圧力計(AJR-02L-VG/AJ-100-VG)による、ガン手元での管理を推奨します。
- 作業 2 吹付距離は塗料の粘度、性質により異なりますが、200～300mmの範囲で塗装します。



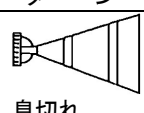

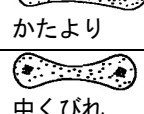

## ■ 保守・点検


### ⚠ 警告

- ・安全にご使用頂くための警告事項の機器誤用3項に従い、圧力を完全に逃がしてから作業してください。
- ・十分理解され、熟達された方が行ってください。

保守時の作業手順	重 要
1. 残った塗料を他の容器に移した後、塗料通路及び空気キャップセットの洗浄を行います。塗料通路の洗浄は少量のシンナーを吹き付けて行います。	1. 洗浄不良はパタン形状や粒子の不具合の原因となります。特に二液塗料を御使用後は素早く入念に洗浄してください。
2. 各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで入念に行いウエス等でふき取ります。	2. スプレーガン全体及び空気キャップASSY をシンナー等の液中に浸さないでください。長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となります。尚、洗浄時には空気キャップASSY、塗料ノズル先端、塗料ノズル各噴出穴及びニードル弁ASSY は絶対にキズを付けないでください。
3. 分解する前には塗料通路内部を十分洗浄します。 塗料ノズル分解時工具はメガネレンチ、ボックスレンチ又は別売りの専用スパナ(コードNo. Q3538600)を使用してください。	3. 塗料ノズルの着脱する時は、シート部保護のため引金を引き、ニードル弁ASSY を引いた状態で行ってください。
4. ニードル弁パッキンセットを調節する時は、ニードル弁ASSYを挿入したままで一旦、手で締め込みます。手で締まった所からスパナで再度締め込みます。スパナで締める目安は、手で締めて止まった所から1/6回転程度です。ニードル弁パッキンセット交換時、先端部分が本体に残る場合がありますので確認してください 	4. ニードル弁パッキンセットは締め過ぎるとニードル弁ASSY の動きが悪くなり塗料の先端漏れの原因となります。固く締め過ぎないように、引金を引きながら、ニードル弁ASSY の動きを確認しつつ、調節してください。万が一、締め過ぎてしまった時は、ニードル弁パッキンセットを完全に緩めてから、もう一度締め直してください。
5. パタン調節装置及び空気量調節装置の組立はおのこの調節装置を全開にしてから本体セットにねじ込みます。	5. 全開でないと、パタン調節装置及び空気量調節装置の先端が本体セット先にぶつかり、損傷の原因となります。
6. ニードル弁ばねASSYを取り付けの際は、樹脂部品がニードル弁ASSYと反対方向になるようにしてください。 	6. 逆向きに取り付けると引金荷重が重くなる等、正常に作動しない原因となります。

点 検 箇 所	部 品 交 換 基 準
1. 空気キャップセットおよび塗料ノズルの各穴の通路	つぶれ、変形がある場合は交換
2. パッキン、Oリング類	変形、摩耗の場合交換
3. 塗料ノズル、ニードル弁セット間のシート漏れ	塗料ノズル、ニードル弁セットの洗浄を十分行っても、漏れがある場合交換。

タ ー ン	原 因	対 策
 息切れ	1) 塗料ノズルと本体のテーパシート間より空気が混入。 2) ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 3) 塗料容器取付け部又は塗料ホース継手部よりの空気の混入。	1) 塗料ノズルを外しシート部を清掃した上で再度取付けてください。尚、シート部にキズがある場合は塗料ノズルを交換してください。 2) ニードル弁パッキンセットの締め増しを行ってください。 3) 継手部の締付けを確かめ完全にしてください。
 三日月 かたより	1) 角孔 {キャップ 先端の角部分(突起部)にあいている孔} に塗料等の固形物が詰まり両角孔からの空気の強さが異なる。 2) 塗料ノズルの外周及び空気キャップセット中心に固形物が付着している。又はキズがある。 2) 塗料ノズル取付けが悪い。	1) 角孔の固形物を除去してください。この際、付属の掃除用ブラシを使用し、金属類のものは使用しないでください。 1) ゴミ・固形物が付着している場合は、除去してください。又、キズがある場合は、その部品を交換してください。 2) 塗料ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。
 中くびれ	1) 塗料粘度が低すぎる。 2) 塗料噴出量が多すぎる。	1) 塗料原液を追加し、粘度を高目に調整してください。 2) 塗料調節つまみを絞りを噴出量を少なくしてください。
 中高	1) 塗料粘度が高すぎる。 2) 塗料噴出量が少なすぎる。	1) うすめ液を追加し粘度を低目に調整してください。 2) 塗料調節つまみを左に回し噴出量を多くしてください。

パターン	原因	対策
 スピット	1) ノズル・ニードルセットのシート不良。 2) 一段吹き(空気のみ噴出)代の減少。 3) 空気キャップセット内部の塗料汚れ。	1) ノズルニードル ASSY の洗浄又は交換をしてください。 2) ノズルニードル ASSY の交換をしてください。 3) 空気キャップASSYの洗浄をしてください。

状況	発生箇所	チェック箇所	原因	締め増し	調整	洗浄	部品交換
塗料漏れ	スプレーガン 先端部	塗料ノズル～ ニードル弁ASSY	シート面のゴミ・キズ・摩耗 塗料調節ツマミの緩めすぎ ニードル弁ばねのへたり		○	○	○
		塗料ノズル～本体ASSY	締め付け不良 シート面のゴミ・キズ	○		○	○
		ニードル弁パッキンセット	ニードル弁パッキン押しの締め付けすぎによる ニードル弁ASSY戻り不良 ニードル弁ASSYへの塗料の固着による ニードル弁ASSY戻り不良		○	○	○
	ニードル弁 パッキン部	ニードル弁パッキンセット ～ニードル弁ASSY	摩耗	○			○
		ニードル弁パッキンセット	締め付け不良	○			
塗料出ず	スプレーガン 先端部	塗料調節ツマミ	開度不足		○		
		塗料ノズル	孔の詰まり・ゴミ・固着			○	
		ニードル弁パッキンセット ～ニードル弁ASSY	塗料固着 ニードル弁パッキン押しの締め付けすぎ		○		○
空気漏れ (空気キャップ 先端からの)	空気弁セット部	空気弁	シート面のゴミ・キズ			○	○
		空気弁シートASSY	シート面のゴミ・キズ 空気弁ばねのへたり			○	○

## ■ 保証と修理サービス

- ・保証期間は、お買いあげの日から6ヶ月です。
- ・万一、故障の場合は、お買いあげの販売店又は当社支店・営業所・サービス会社にご連絡ください。  
保証期間中は、無償修理いたします。
- ・次の場合は保証期間内でもお客様のご負担(有償)になります。
  - ・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷
  - ・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷
  - ・消耗品の交換・修理
  - ・天災、地震、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷
  - ・純正部品以外の部品が使用されている場合
  - ・指定の修理店以外による修理がなされている場合
- ・保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan

### 【免責事項】

本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次的、派生的または間接的な損害に対する補償はいたしかねますのでご了承をお願い申し上げます。

### 【お問い合わせ先】

#### ・電話でのお問い合わせ

スプレーガン、静電塗装機、塗料供給装置、液圧機器、塗装ブース、自動塗装装置、塗装プラント、塗装ロボット、環境装置に関するお問い合わせ



0800-100-1926

0800-100-1926



その他、上記以外に関するお問い合わせ

0120-917-144

#### ・メールでのお問い合わせ

<http://www.anest-iwata.co.jp>

各種お問い合わせ先は変更する場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては当社ホームページをご覧ください。

# アネスト岩田株式会社

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

ホームページ <http://www.anest-iwata.co.jp>

取説 No. T1061-01

コード No. 03018760

# INSTRUCTION MANUAL

## Heavy Viscosity Spray Gun

### HW-2003

**Application**  
This gun is for painting high viscosity paints (such as adhesives, FRP resin, etc.).

### Important

This manual contains **IMPORTANT WARNINGS** and **INSTRUCTIONS**. Equipment in this manual is exclusively for painting purposes. Do not use for other purposes. The operator shall be fully conversant with the requirements stated in this instruction manual including important warnings, cautions and operation and correct handling. Read and understand the instruction manual, before use and retain for reference.

Be sure to observe warnings and cautions in this instruction manual. If not, it can cause paint ejection and serious bodily injury by drawing organic solvent. Be sure to observe following  marked items which are especially important.	
<b>WARNING</b>	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in serious injury or loss of life.
<b>CAUTION</b>	Indicates a potentially hazardous situation which, if not avoided, may result in minor or moderate injury or property damage.
<b>Important</b>	Indicates notes which we ask you to observe. The safety precautions in this instruction manual are the minimum necessary conditions. Follow national and local regulations regarding fire prevention, electricity and safety as well as your own company regulations.

Symbol Marking on the Spray Gun:											
This ANEST IWATA spray gun complies with 2014/34/EU Directive relating to equipment and protective systems intended for use in explosive potentially atmospheres.			II	2	G	Ex h	IIB	T6	Gb	X	T <sub>Amb</sub> +5°C~+40°C
	Complies with European Directive	Specific Marking for Explosion Protective	Group II (Surface)	Category (Zone 1&2)	Type of Atmosphere (GAS)	Ignition Protection (not applied)	Explosion Group (Ethylene)	Temperature Class (≤85°C)	Explosion Protection level (EPL)	Additional conditions: Any static Electricity should be discharged and needs to be diverted to the ground via a conductive air hose not included.	Ambient Temperature

### Important specifications

Max. Pressure	0.70MPa / 7.0bar / 100psi
Noise level	73.7dB(A)
Spray condition	Recommended
Measuring point	1m backwards from spray gun, 1.6m height
Max. temperature	Atmosphere: 5°C~40°C (41°F~104°F) ; Air and Fluid: 5°C~43°C (41°F~109°F)

### Nozzle needle assy combination

Fluid nozzle		Fluid needle
Orifice Φ mm (in)	Mark	Mark
Φ 2.0 (0.079)	/ W2 / 20	20 WIDER2

**Important** Never connect pressure feeding paint except pressure feed type spray gun.

### Main specifications

Model	Type of feed	Nozzle orifice Φ mm (in)	Air cap assy Mark	Recommended condition			Air & fluid Connection	Mass g (lbs.)	Paint container
				*1 Atomizing air pressure MPa (bar / PSI)	Air consumption l/min (cfm)	*2 Pattern width mm (in)			
HW-2003-20	Pressure (container)	2.0 (0.079)	R1	0.29 (3.0/43)	270 (9.53)	300 (11.8) ~ 400 (15.7)	Air G1/4(NPS1/4) Fluid M16x1	385 (0.85)	PC-19B (option)

\*1. Atomizing air pressure means air pressure at spray gun inlet when trigger is pulled and air flows.

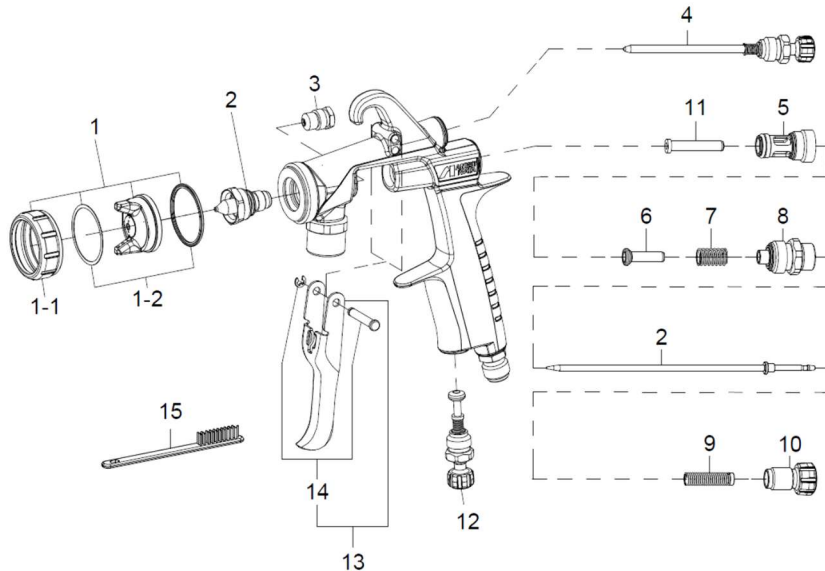
\*2. Pattern width is reference data under spraying emulsion paint (Viscosity : about 3 Pa · s (30 P)) by setting the spray distance from the gun to the work piece within the range of 200-300 mm (7.9-11.8 in).

## Parts list

No.	Description	Qty
1	Air cap assy	1
1-1	Air cap cover	1
1-2	Air cap paking	1
◆ 2	Nozzle needle assy • Fluid nozzle • Fluid needle	1
◆ 3	Needle packing set	1
4	Pattern Adj. assy	1
5	Air valve seat assy	1
◆ 6	Air valve	1
7	Air valve spring	1
8	Fluid Adj. guide assy	1
9	Fluid needle spring assy	1
10	Fluid Adj. knob	1
◆ 11	Air Valve shaft	1
12	Air Adj. assy	1
13	Trigger assy	1
14	Trigger stud assy	1
15	Brush	1
16	Instruction manual (This note)	1

Accessories

◆ Marked parts are wearable parts.



- ◎ When ordering parts, specify spray gun's model, part name with ref. No. and marked No. of air cap assy, fluid nozzle and fluid needle.
- ◎ When replacing fluid nozzle or/and fluid needle, please replace both fluid nozzle and fluid needle assy together.
- ◎ When receiving the spray gun, make sure that it has not been damaged during transport or storage and also check that all the above contents are inside the box.

## Safety precautions

### ⚠ WARNING

#### Fire and explosion

- Spark and open flames are strictly prohibited.**  
Adhesives can be highly flammable and can cause fire.  
Avoid any ignition sources such as smoking, open flames, electrical goods, etc.
- Never use the following HALOGENATED HYDROCARBON SOLVENTS**  
which can cause cracks or dissolution on spray gun body (aluminum) by chemical reaction.  
unsuitable solvents : methyl chloride, dichloromethane, 1,2-dichloroethane, carbon tetrachloride, trichloroethylene, 1,1,1-trichloroethane  
(Be sure that all fluids and solvents are compatible with spray gun parts. We are ready to supply a material list used in the product)
- Securely ground spray gun by using air hose with built-in ground wire.**  
Ground wire should have less than 1MΩ resistant. Periodically check the ground for continuity.  
Insufficient grounding can cause fire or explosion due to static electric sparking.



#### Improper use of equipment

- Never point spray gun toward people or animal.**  
If done, it can cause inflammation of eyes and skin or bodily injury.
- Never exceed maximum operating pressure or temperature.**
- Be sure to release air and fluid pressures before cleaning, disassembling or servicing.**  
If not, remaining pressure can cause bodily injury or property damage.  
To release pressure, first shut off the supply of compressed air and fluid to the spray gun.  
Then squeeze trigger, while the spray is pointed in a safe direction.
- Tip of fluid needle and tip of fluid nozzle has a sharp point.**  
Avoid touching the tip of the fluid needle or fluid nozzle during maintenance to prevent injury.



#### Protection of human body

- Use only in a well-ventilated area (such as in a spray booth).**  
If not, poor ventilation can cause organic solvent poisoning and fire hazard.
- Always wear protective gear (safety glasses, mask, gloves).**  
If not, adhesive, solvents, etc., can cause irritation of eyes and skin.  
If you feel something wrong with eyes or skin, immediately see a doctor.
- Wear earplugs if necessary.**  
Noise level can exceed 80dB(A), depending on operating conditions and painting site
- If operators pull the trigger many times during use, it may cause carpal tunnel syndrome.**  
Be sure to take a rest if you feel tired.



#### Other precautions

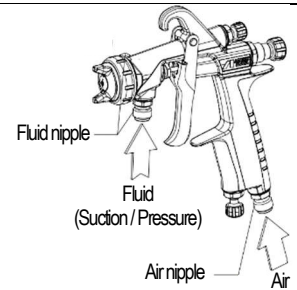
- Never alter this spray gun.**  
If done, it can cause insufficient performance and failure.
- Only enter the working areas of other equipment (robots, reciprocators, etc.) after machines have safely been shut down.**  
If not, contact with them can cause injury.
- Never spray foods or chemicals through this spray gun.**  
If done, it can cause accident by corrosion of fluid passages or adversely affect health by mixed foreign matter.
- If something goes wrong, immediately stop operation and find the cause. Do not use again until you have solved the problem.**

## How to connect

## CAUTION

- Use clean air filtered through air dryer and air filter. If not, dirty air can cause painting failure.
- Before using the spray gun for the first time, clean fluid passages with thinner to remove rust preventive oil. If not cleaned, the rust preventive oil can cause paint failure, such as fish eyes.
- Firmly connect hose or cup to spray gun. If not, disconnection of hose or drop of cup can cause bodily injury.
- Before spray read and understand PC-19B (option) INSTRUCTION MANUAL.

- Step1. Connect an air hose to air nipple tightly.
- Step2. Connect a container to fluid nipple tightly.
- Step3. Flush the spray gun fluid passage with a compatible solvent.
- Step4. Pour adhesive into container, test spray and adjust fluid output as well as pattern width.



## Maintenance and inspection

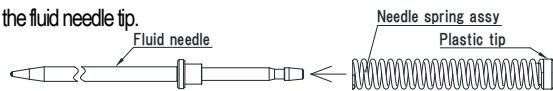
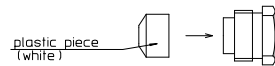
### WARNING

- First release air and pressure fully according to item No. 3 of "Improper use of equipment" of WARNING on page 2.
- Only an experienced person who is fully knowledgeable of the equipment should perform maintenance and inspection.
- Use neutral cleaner: pH value shall be 6 to 8, otherwise could cause corrosion.

### CAUTION

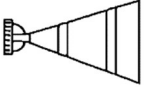





- Only use genuine ANEST IWATA parts for any maintenance or repairs.

Step-by-step procedure	Important
1. Pour remaining adhesive to another container. Clean fluid passages and air cap Assy. Spray a small amount of thinner into fluid passages to clean them.	1. Incomplete cleaning can result in poor spray pattern and contaminated adhesive. It is especially important clean the gun fully and promptly after using two-component adhesive.
2. Clean each section with brush soaked with thinner and wipe out with waste cloth.	2. Soaking whole spray gun in solvent may cause spray gun malfunction. Also soaking air cap Assy. itself for extended period may cause a defective spray pattern. When cleaning, never scratch the air cap Assy., fluid nozzle, or fluid needle. Avoid touching or damaging the tip of the fluid nozzle or needle.
3. Before disassembly, fully clean fluid passages. Remove fluid nozzle, using a ring spanner, box wrench or optional accessory spanner (code 93538601)	3. During disassembly, avoid scratching the needle seating surface. Either first remove the fluid needle or hold the trigger back while removing the fluid nozzle, to protect the seating surface.
4. If you need to adjust fluid needle packing set, first tighten it by hand (with fluid needle in place). Then tighten it further about 1/6 turn (60-degree) by spanner. When you remove needle packing set, do not leave the plastic tip of the packing in the spray gun body.	4. If you tighten the fluid needle packing set too much, fluid needle will not move smoothly, resulting in adhesive leakage from tip of the fluid nozzle. Try to adjust it carefully while pulling the trigger and confirming smooth movement of the fluid needle. If you tighten it too much, first fully loosen it and then retighten again carefully.
5. To assemble the air valve, first assemble the air valve, air valve spring, and fluid adj. guide Assy. together. Next, insert fluid needle into fluid adj. guide Assy., then fit it to spray gun body and screw fluid adj. guide Assy. in.	5. If you try to fit air valve spring and air valve to the spray gun body without the fluid needle, the air valve may not be fitted correctly and the packing inside fluid adj. guide Assy. can be damaged.
6. Before assembling the pattern adj. Assy. or air adj. Assy. back on to the gun body, fully turn the adjustment knobs counterclockwise to open. Once in the gun body the pattern adj. knob and air adj. knob can be tightened.	6. If pattern adj. knob or air adj. knob is not fully opened when tightening into gun body, the tip of it can contact and damage the seating surface.
7. When you assemble the needle spring on the fluid needle, the plastic tip should be on the opposite side as the fluid needle tip.	7. If plastic tip is on the wrong side, it may not operate normally. Incorrect installation of the needle spring may cause a heavy trigger pull.



Where to inspect	Parts replacement standard
1. Each hole passage of air cap Assy and fluid nozzle	Replace if it is crushed or deformed.
2. Packing and O ring	Replace if it is deformed or worn out.
3. Leakage from seating surface between fluid nozzle and fluid needle	Replace them if leakage does not stop after fully cleaning the fluid nozzle and needle. If you replace the fluid nozzle or fluid needle only, ensure they fully match and confirm that there is no leakage.

# ■ Troubleshooting

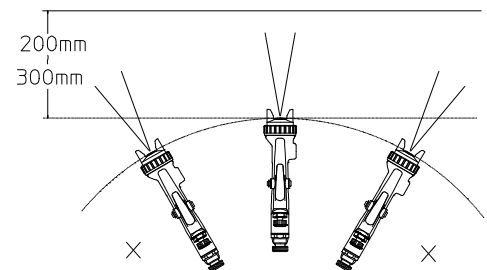
Spray Pattern	Problems	Remedies
 Fluttering	1. Air enters between fluid nozzle and tapered seat of spray gun body. 2. Air is drawn from fluid needle packing set. 3. Air enters at fluid container fitting nut or fluid hose joint.	1. Remove fluid nozzle to clean seat. If it is damaged, replace nozzle. 2. Tighten fluid needle packing. 3. Fully tighten joint section.
 Crescent	1. Adhesive buildup on air cap assy. partially clogs horn holes. Air pressure from both horns differs.	1. Remove obstructions from horn holes with attached brush. But do not use metal objects to clean horn holes.
 Inclined	1. Adhesive buildup or damage on fluid nozzle circumference and air cap assy. center. 2. Fluid nozzle is not properly fitted.	1. Remove obstructions. Replace if damaged. 2. Remove fluid nozzle and clean seat section.
 Split	1. Liquid temperature of adhesive is low (especially caution in winter). 2. The adhesive is oxidized. 3. Fluid output too high. 4. Pattern air pressure is too high.	1. Add paint to increase viscosity. 2. Turn fluid adj. knob clockwise to reduce fluid output. 3. Turn pattern adj. assy. clockwise to reduce pattern air pressure.
 Heavy Center	1. Liquid temperature of adhesive is low (especially caution in winter). 2. The adhesive is oxidized. 3. Fluid output is too low.	1. Add thinner to reduce viscosity. 2. Turn fluid adj. knob counter-clockwise to increase fluid output.
 Spit	1. Adhesive buildup on fluid nozzle circumference and air cap assy. center. 2. Fluid nozzle and fluid needle are not seated properly. 3. The first-stage travel of trigger (when only air discharges) decreases. 4. Paint buildup inside air cap assy.	1. Clean the nozzle and air cap regularly. 2. Clean or replace fluid nozzle and fluid needle assy.. 3. Replace fluid nozzle and fluid needle assy. 4. Clean air cap assy.

R1: retighten R2: adjust R3: clean R4: replace parts

Problem	Where it occurred	Parts to be checked	Cause	Remedy			
				R1	R2	R3	R4
Paint leaks	Fluid nozzle	Fluid nozzle ~ Fluid needle	Dirt, damage, wear on seat Loose fluid needle adj. knob Wear on needle spring		○	○	○
		Fluid nozzle ~ Spray gun body	Insufficient tightening Dirt or damage on seat	○		○	○
		Needle packing set	Fluid needle does not return due to packing set too tight Fluid needle does not return due to paint buildup on fluid needle		○	○	○
	Needle packing set	Needle packing set ~ Fluid needle	Wear	○			○
		Needle packing set	Insufficient tightening	○			
		Needle packing set	Insufficient opening		○		
Paint does not come out	Tip of spray gun	Fluid adj. knob	Clogged			○	
		Tip hole of fluid nozzle	Clogged			○	○
		Needle packing set ~ Fluid needle	Insufficient tightening		○		
		Air valve	Dirt or damage on seat			○	○
Air leaks (from tip of air cap assy)	Air valve & Air valve seat assy	Air valve seat assy	Dirt or damage on seat Wear on air valve spring			○	○
		Air valve	Dirt or damage on seat			○	○

## ■ How to operate

- Suggested air pressure of 2.5 to 3.5 bar (36 to 50 PSI).
- Set the spray distance from the gun to the work piece within the range of 200-300 mm (7.9-11.8 in).
- The gun should be held so that it is perpendicular to the surface of the work piece at all times. Then, the gun should move in a straight and horizontal line. Arcing the gun causes uneven painting.



# ANEST IWATA Corporation

3176, Shinyoshida-cho, Kohoku-ku, Yokohama, 223-8501, Japan

Manual No. T1061-01  
Code No. 03018760